

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 SECカーボン株式会社 京都工場 新AG伊工場建築設計画(倉庫棟)

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽衝撃源)										
4 界床遮音性能(重衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ソーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能							0.43			3.6
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画										
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性						3.1	0.50			3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						3.6	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		角波鋼板サイディング:30年以上				5.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		送風機:20年				4.0	0.20			
2.4 信頼性						2.7	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.25			
2 給排水・衛生設備						-	-			
3 電気設備						3.0	0.25			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.25			
5 通信・情報設備						2.0	0.25			

3	対応性・更新性		4.2	0.50		-	4.2
	3. 空間のゆとり		5.0	0.30		-	
	1 階高のゆとり	倉庫階高: 3.9m以上	5.0	0.60		-	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 0.02	5.0	0.40		-	
	3. 積置のゆとり	積載荷重: 39200N/m ²	5.0	0.30		-	
	3. 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.29		-	
	2 給排水管の更新性	-	-	-		-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.14		-	
	4 通信配線の更新性	-	-	-		-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.29		-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.29		-	
Q3 室外環境(敷地内)							
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40		-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30		-	2.0
	3. 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
	3. 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							
LR1 総合エネルギー							
1	建物外皮の熱負荷抑制		-	-		-	-
2	自然エネルギー利用		3.0	0.33		-	3.0
3	設備システムの高効率化		-	-		-	-
4	効率的運用		3.0	0.67		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
	4. 1 モニタリング		3.0	0.50		-	
	4. 2 運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	-
	4. 1 モニタリング		-	-		-	-
	4. 2 運用管理体制		-	-		-	-
LR2 資源とマテリアリティ							
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1. 節水		-	-		-	-
	1. 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	1.00		-	
	1. 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60		-	2.7
	2. 材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
	2. 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
	2. 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
	2. 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22		-	
	2. 持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	-
	2. 部材の再利用可能性向上への取組み	解体時の分別が容易なLGS工法を採用	4.0	0.22		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20		-	3.3
	3. 有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない防水プライマーの採用	4.0	0.30		-	
	3. フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	-
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
	3 冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境							
1	地球温暖化への配慮		-	-		-	-
2	地域環境への配慮		3.5	0.50		-	3.5
	2. 大気汚染防止	燃焼機器を使用しておらず、大気汚染物質を全く発生しない。	5.0	0.25		-	
	2. 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
	2. 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.50		-	3.2
	3. 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.33		-	
	2 振動		3.0	0.33		-	
	3 悪臭		3.0	0.33		-	
	3. 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制		-	-		-	-
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3. 光害の抑制		4.4	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策チェックリスト 過半に該当し、広告物照明の設置無し	5.0	0.70		-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	1.0	1.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH - 屋光率 0.0% 自然換気有効開口面積率 0.0%
3.1.1 屋光率	執務スペース 0.0㎡/人 病床 0.0㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡
4.2.2 自然換気性能	コンセント容量 0.0 VA/㎡
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	天井高 0 m
1.1.2 高度情報通信設備対応	リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%
1.2.1 広さ感・景観	想定耐用年数 0 年
1.2.2 リフレッシュスペース	想定必要間隔 40 年
2.1 躯体材料の耐用年数	想定必要間隔 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 20 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	階高 6 m
2.6 主要設備機器の更新必要間隔	壁長さ比率 1.5%
3.1.1 階高のゆとり	床荷重 39200 N/m2
3.1.2 空間の形状・自由さ	
3.2 荷重のゆとり	
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 0% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 58% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 0% 舗装面積率 113%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPIin 断熱等性能等級 0 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 9% 隣棟間隔指標Rw 7.87 地表面対策面積率 0.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0! 見付面積Sb 211㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 92.78 m 基準高さHb 26.47 m 緑地 ㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡